ほくほくフィナンシャルグループ
会社説明会資料

2021年6月

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

（東証1部、札証証券コード:8377）

目次

・はじめに	・・・・・	1			
【ほくほくフィナンシャルグループの概要】			**【経営戦略】**		
・プロフィール	・・・・・	2	・地域金融機関を取り巻く環境	・・・・・	12
【2021年3月期決算の概要】			・中期経営計画「ALL for the Region」	・・・・・	13
・損益概要	・・・・・	4	・コロナ禍における取組み	・・・・・	14
・預金等残高	・・・・・	6	・グループ総合力の発揮	・・・・・	15
・貸出金等残高	・・・・・	7	・法人戦略	・・・・・	18
・有価証券	・・・・・	8	・個人戦略	・・・・・	19
・経費・与信費用	・・・・・	9	・デジタル化・Fintech	・・・・・	21
・自己資本比率	・・・・・	10	・地域社会活性化	・・・・・	22
・業績予想	・・・・・	11	～ESG/SDGsへの取組み～		

はじめに

「ほくほくフィナンシャルグループ」は、広域地域金融機関グループとしてのネットワークと総合的な金融サービス機能を活用して、地域とお客さまの繁栄に貢献し、ともに発展しつづけます。

経営理念

地域共栄　：　社会的使命を実践し、地域社会とお客さまとともに発展します。

公正堅実　：　公正かつ堅実な経営による健全な企業活動を目指し、信頼に応えます。

進取創造　：　創造と革新を追求し、活力ある職場から魅力あるサービスを提供します。

ほくほくフィナンシャルグループSDGs宣言（2019.4.1）

ほくほくフィナンシャルグループは、「地域共栄」「公正堅実」「進取創造」の経営理念のもと、国際連合が提唱するSDGs（持続可能な開発目標）の視点を踏まえたCSR活動に積極的に取り組むことにより、地域経済、地域社会のSustainability（持続可能性）の向上を目指してまいります。

ほくほくフィナンシャルグループ環境方針（2020.2.1制定）

ほくほくフィナンシャルグループは、経営理念のひとつである「地域共栄」の実現に向け、営業活動を含む自らの企業活動において環境への配慮に努めてまいります。

1. 環境保全に関する法規等を遵守します。
2. 金融商品やサービスの提供を通じて、環境問題に取り組むお客さまへの支援を積極的に行います。
3. 企業活動全般において、省資源、省エネルギー、リサイクル活動を推進し、環境負荷の低減に努めます。
4. 企業活動が環境に与える影響を定期的に検証するとともに、積極的な情報開示に努めます。
5. 地域社会と積極的に連携し、環境保全活動を推進します。
6. 本方針は、グループ内の全役職員に周知するとともに、対外的にも公表します。

ほくほくフィナンシャルグループの概要

＜富山大橋＞

プロフィール

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

設立　　：2003年
本店所在地　：富山市
資本金　　：708億円
自己資本比率：9.45%
格付　　：A（R&I）

地方銀行　総資産ランキング(2021年3月期)

	総資産	（単位：億円）
1位	ふくおかＦＧ	275,100
2位	めぶきＦＧ	228,351
3位	コンコルディアＦＧ	215,774
4位	千葉銀行	178,981
5位	**ほくほくＦＧ**	**166,354**
6位	関西みらいＦＧ	146,029
7位	静岡銀行	140,463
8位	京都銀行	122,739
9位	九州FG	122,040
10位	八十二銀行	121,606

※各行決算短信より当社作成（連結ベース）

北陸銀行

設立：1943年（創業1877年）
本店所在地：富山市
店舗数　　：国内188(支店145･出張所43) 海外5
従業員数　：2,378人
（在籍ベース）

北海道銀行

設立：1951年
本店所在地：札幌市
店舗数　　：国内144(本支店136･出張所8) 海外3
従業員数　：2,202人
（在籍ベース）

ほくほくフィナンシャルグループの歩み

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

ほくほくフィナンシャルグループは、北陸・北海道に基盤を置く地域金融機関として、長らく地域とお客さまの繁栄に貢献してきました。今後とも地域と共に成長・発展することで、共有価値を創造してまいります。

2024
次期共同利用システム移行予定
次世代CRM(※)システム移行予定
(※)Customer Relationship Managementの略

2016
ほくほくTT証券設立
2016年4月　ほくほくTT証券　営業開始

1951
北海道銀行設立

2011
３行共同利用システム「MEJAR」稼働
2011年5月　北陸銀行、北海道銀行が横浜銀行との基幹系システム共同利用を開始

2004
ほくほくフィナンシャルグループ 誕生
Hokuhoku Financial Group

1943
北陸銀行設立

1877
北陸銀行の前身である
金沢第十二国立銀行
創業

北陸銀行

北海道銀行

２０２１年３月期決算の概要

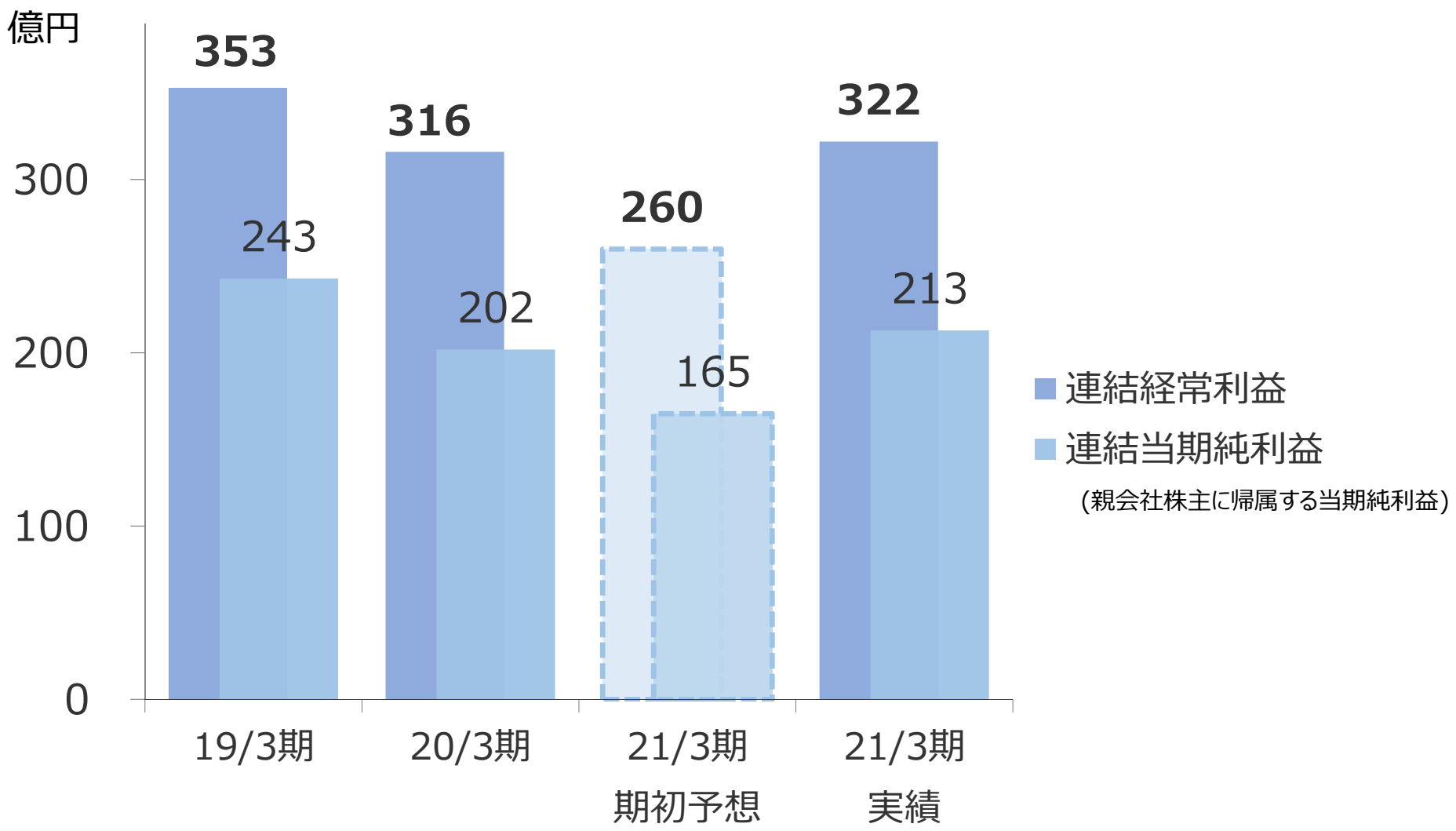
＜白山＞

損益概要

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

・連結経常利益は期初予想を62億円上回る322億円の実績
・連結当期純利益は期初予想を48億円上回る213億円の実績

損益〈フィナンシャルグループ連結〉



損益概要

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

・２行合算の経常利益は期初予想を50億円上回る320億円の実績
・２行合算の当期純利益は期初予想を44億円上回る224億円の実績

損益〈2行合算・北陸銀行・北海道銀行〉

【２行合算】	期初予想	実績	前期比	期初予想比	北陸	前期比	期初予想比	北海道	前期比	期初予想比
コア業務粗利益	1,210	**1,207**	△ 24	△ 2	**667**	△ 1	22	**540**	△ 23	△ 24
資金利益		**1,037**	△ 17		**557**	4		**479**	△ 22	
うち貸出金利息		**840**	△ 1		**424**	△ 3		**415**	1	
うち有価証券利息		**193**	△ 38		**133**	△ 8		**60**	△ 29	
役務取引等利益		**159**	△ 5		**101**	△ 4		**58**	△ 1	
その他利益		**10**	△ 1		**7**	△ 2		**3**	0	
経費（△）	855	**823**	△ 30	△ 31	**439**	△ 18	△ 15	**384**	△ 11	△ 15
コア業務純益	355	**384**	5	29	**228**	16	38	**156**	△ 11	△ 8
有価証券等関連損益		**75**	8		**57**	7		**17**	1	
与信費用(△)	120	**130**	10	10	**84**	△ 8	14	**46**	18	△ 3
経常利益	270	**320**	5	50	**205**	27	50	**115**	△ 21	0
法人税等　（△）		**85**	△ 9		**53**	△ 2		**32**	△ 7	
当期純利益	180	**224**	16	44	**142**	30	42	**81**	△ 13	1

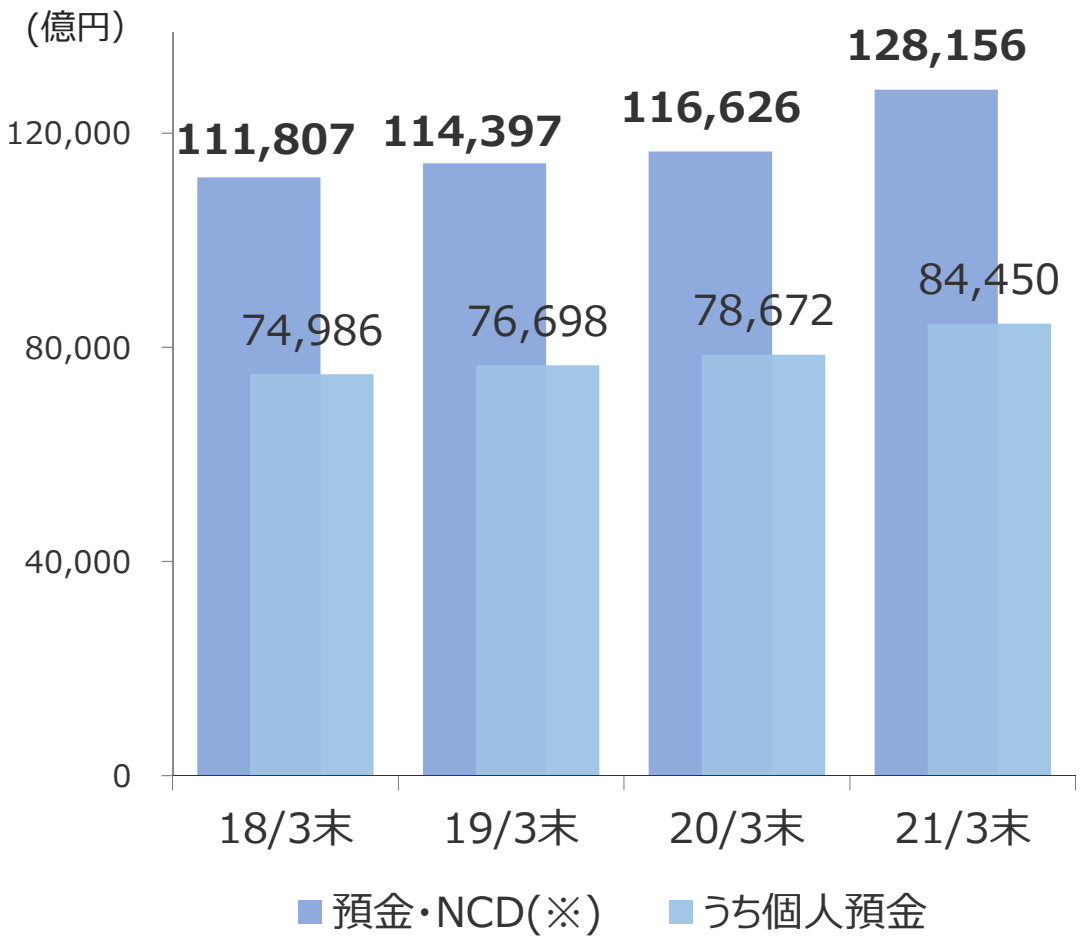
預金等残高

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

・預金は、個人・法人ともに増加し、前期末比1兆1,529億円増加の12兆8,156億円

預金残高（末残）

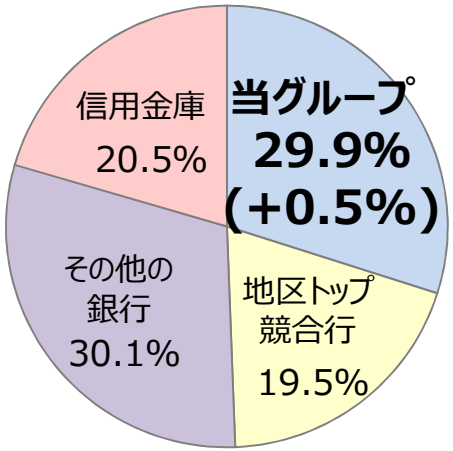
2行合算



(※)ＮＣＤ･･･譲渡性預金

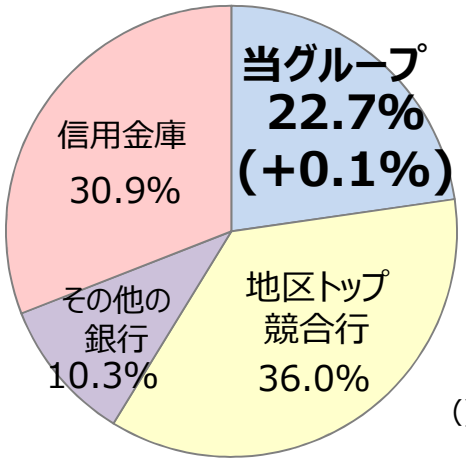
地域シェア(2020年９月末)

北陸三県（富山、石川、福井）



（）は2019年9月末比

北海道



（）は2019年9月末比

※「地区トップ競合行」、「その他の銀行」のシェアは推定値。ゆうちょ銀行は除く。

※　日本銀行「都道府県別預金・現金・貸出金」、信金中金
地域・中小企業研究所「信金中金月報」等より当社にて作成

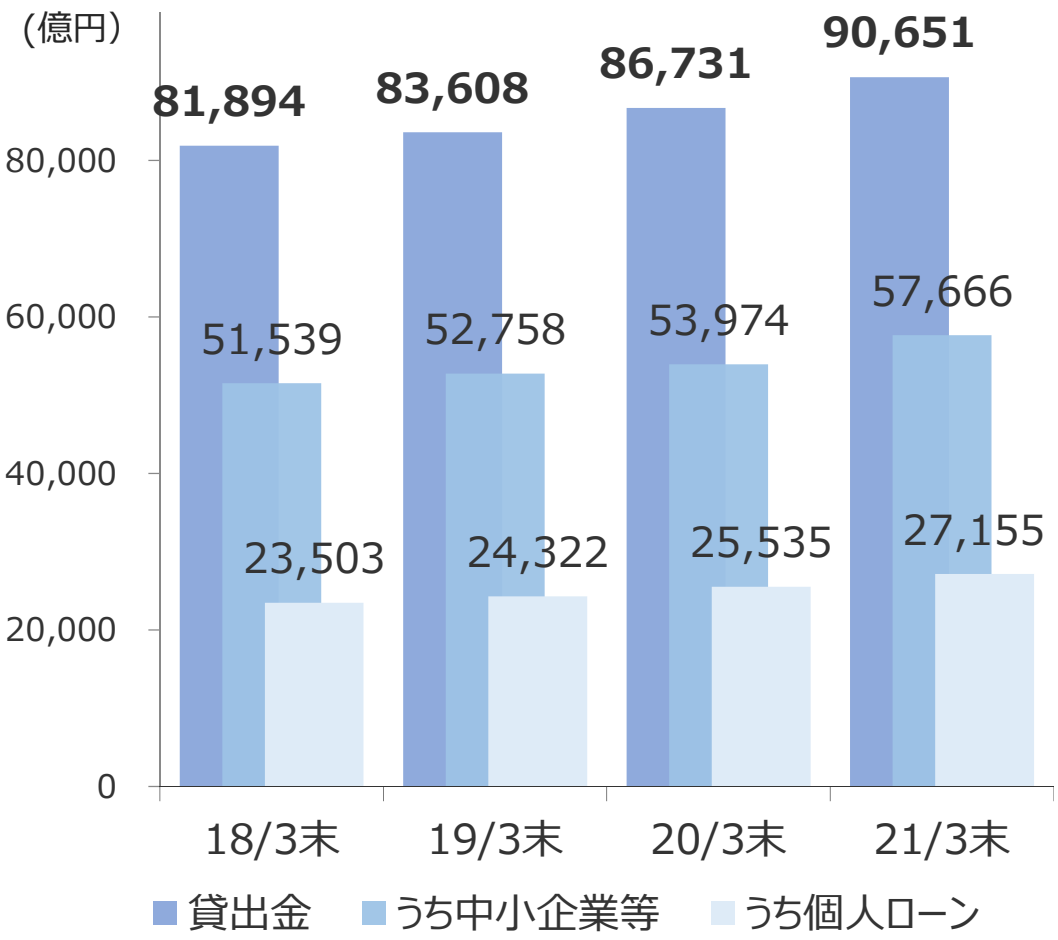
貸出金残高

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

・貸出金は、事業性、個人ローンともに増加し、前期末比3,920億円増加の9兆651億円

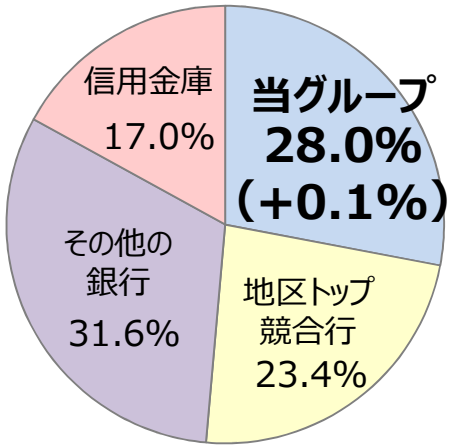
貸出金残高（末残）

2行合算



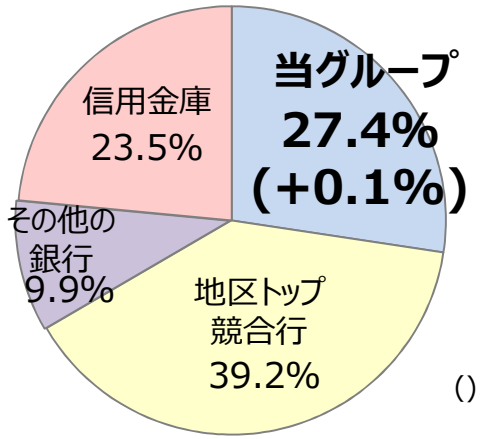
地域シェア(2020年９月末)

北陸三県（富山、石川、福井）



（）は2019年9月末比

北海道



（）は2019年9月末比

※「地区トップ競合行」、「その他の銀行」のシェアは推定値。ゆうちょ銀行は除く。

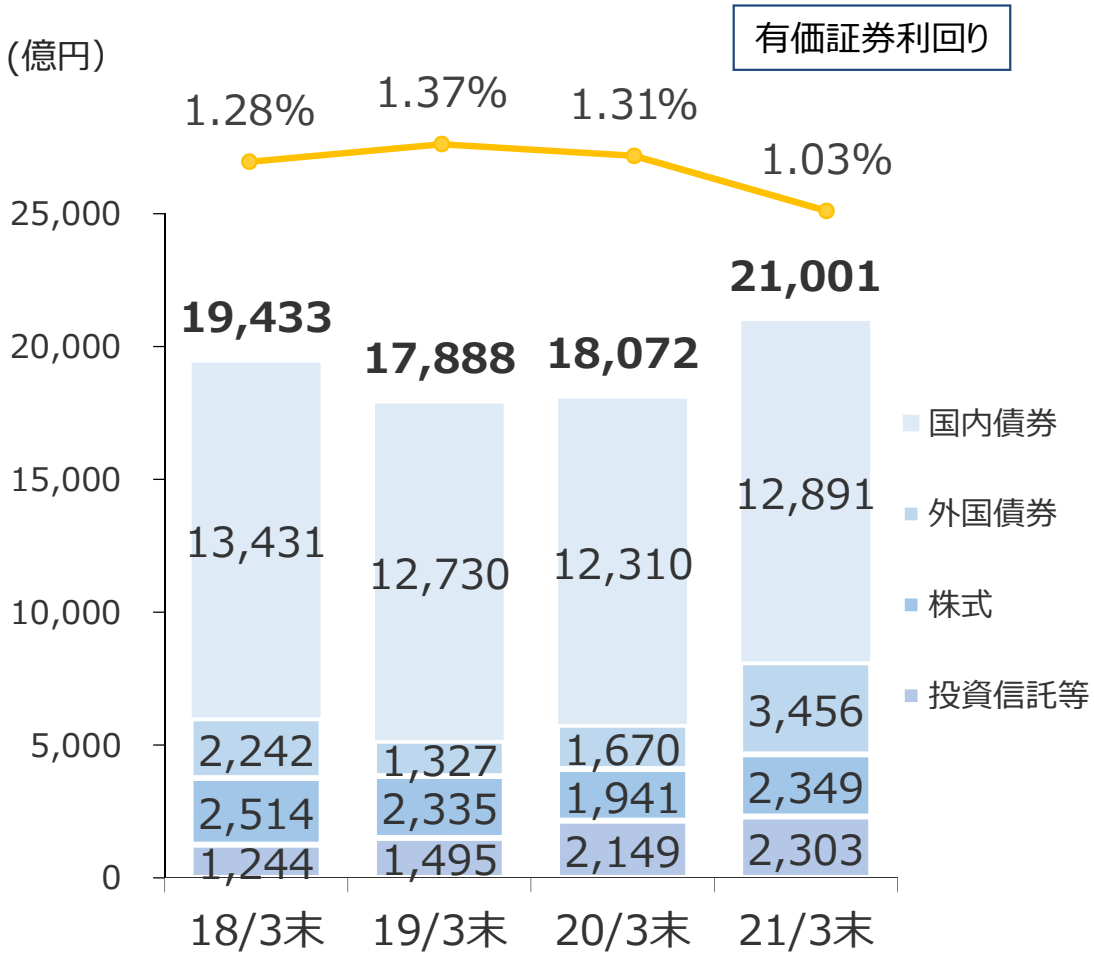
※ 日本銀行「都道府県別預金・現金・貸出金」、信金中金
地域・中小企業研究所「信金中金月報」等より当社にて作成

有価証券

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

・有価証券残高は、外国債券や国内債券を中心に積み上げを図り、前期末比2,929億円増加の2兆1,001億円。評価損益は前期末342億円増加の1,110億円

有価証券残高（末残）



有価証券の売買損益・評価損益

(億円)

	21/3期	増減額	20/3期
有価証券の売買損益	**75**	8	66
国債等債券損益	**20**	△ 64	84
株式等損益	**54**	73	△ 18

	21/3期	増減額	20/3期
有価証券の評価損益	**1,110**	342	767
債券	**20**	△ 47	67
株式	**1,156**	408	748
その他	**△ 67**	△ 18	△ 48

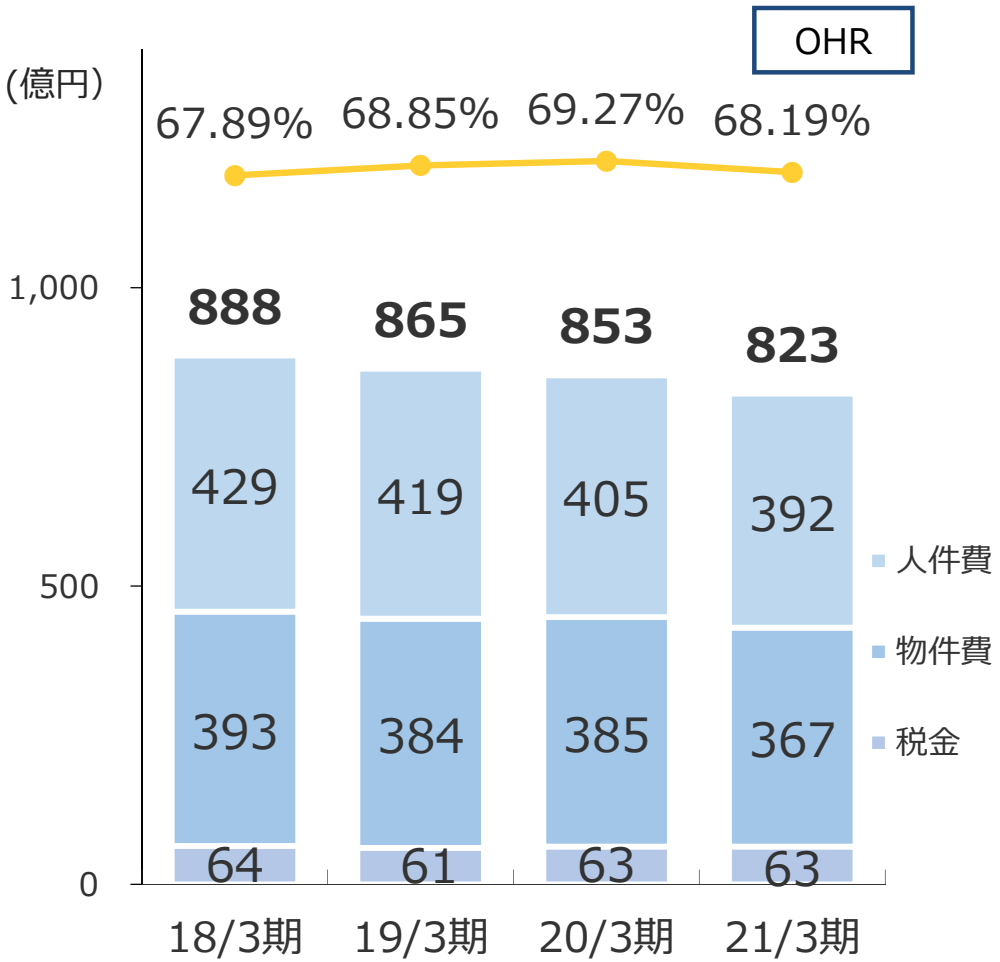
経費・与信費用

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

・OHRは1.08ポイント改善の68.19%、経費は前期比30億円減少の823億円
・与信費用は前期比10億円増加の130億円、不良債権比率は1.93%

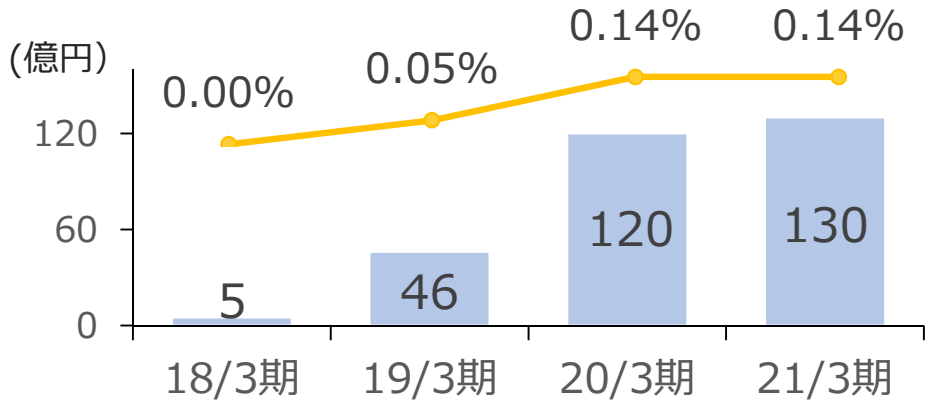
経費・OHR

2行合算



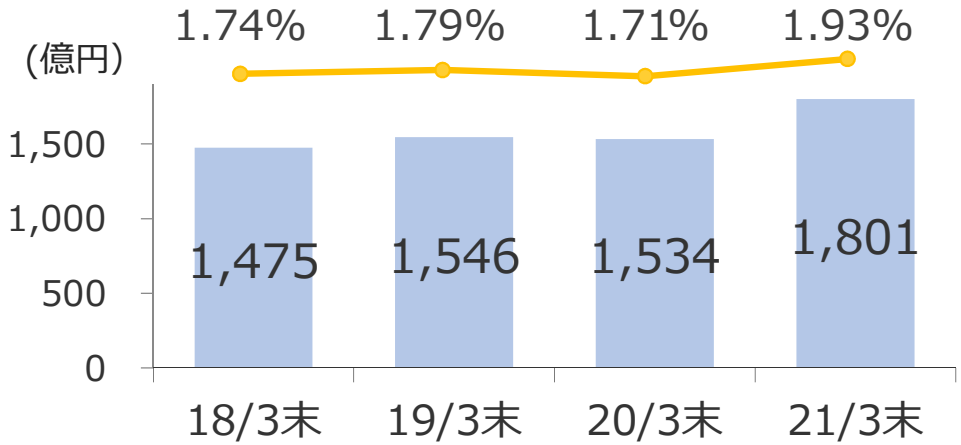
与信費用・比率

2行合算



不良債権残高・比率

2行合算

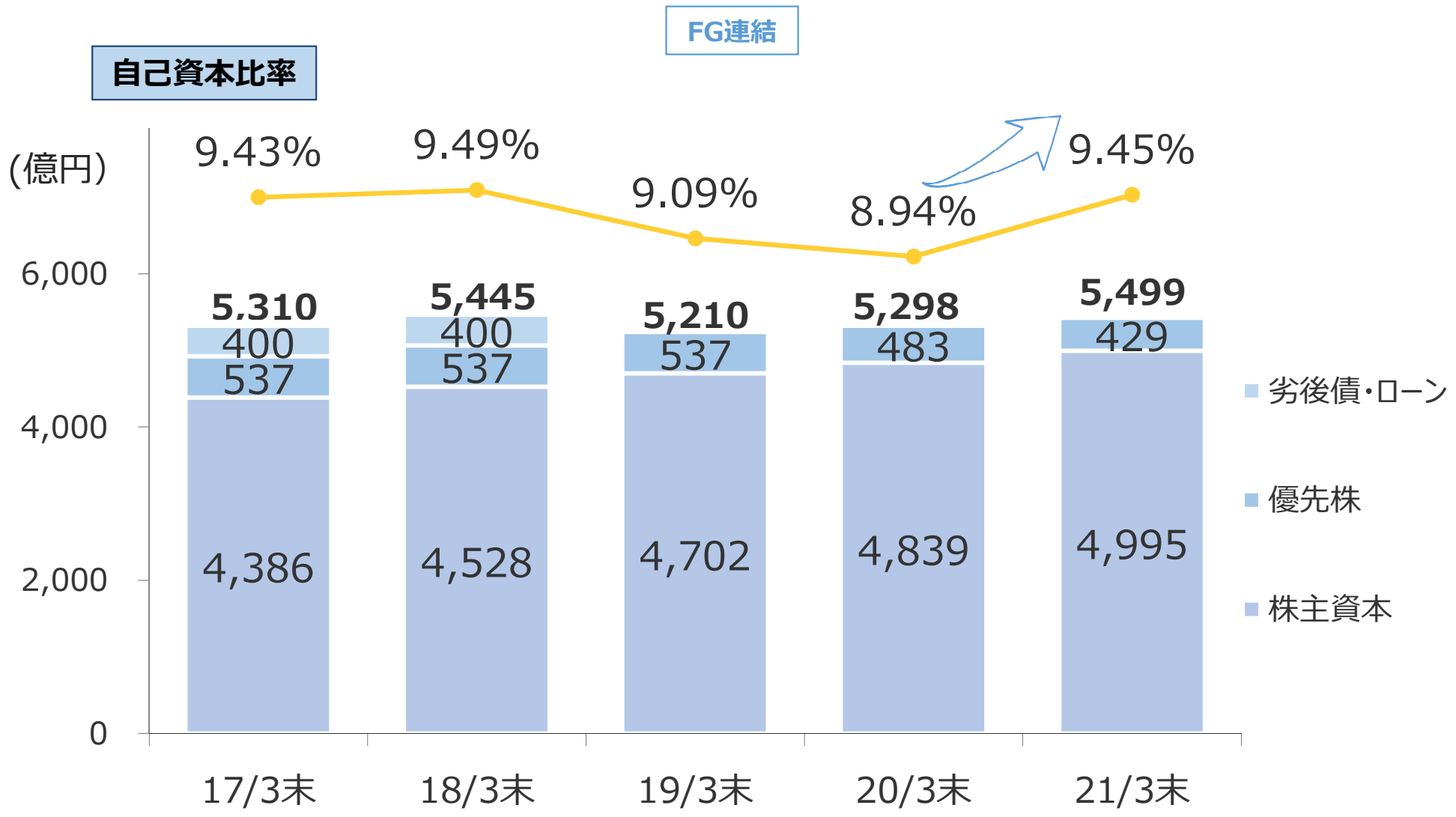


自己資本比率《FG連結》

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

・2020年10月1日に優先株式の一部53.7億円を償還したが、自己資本比率は、利益剰余金の積み上げにより、前期比0.51ポイント上昇の9.45%

自己資本・連結自己資本比率



業績予想

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

2022年３月期　通期業績予想

FG連結

（億円）

	22/3期 業績予想	前期比
経常利益	305	△ 17
当期純利益（※）	185	△ 28

（※）親会社株主に帰属する当期純利益

2022年３月期　配当予想

	中間配当	期末配当	年間予想
普通株式	—	35円00銭	35円00銭
第５種優先株式	7円50銭	7円50銭	15円00銭

※参考　配当推移

20/3期	21/3期	22/3期 予想
40円00銭	35円00銭	35円00銭

2行合算・子銀行単体

（億円）

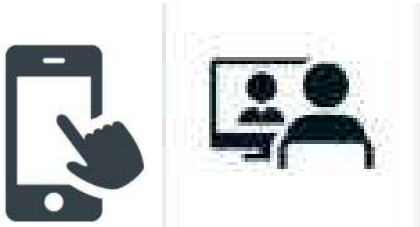
	【２行合算】		【北陸銀行】		【北海道銀行】	
	22/3期 予想	前期比	22/3期 予想	前期比	22/3期 予想	前期比
コア業務粗利益	1,225	17	670	2	555	14
経費（△）	825	1	440	0	385	0
コア業務純益	400	15	230	1	170	13
与信費用（△）	130	△ 0	80	△ 4	50	3
経常利益	315	△ 5	190	△ 15	125	9
当期純利益	210	△ 14	120	△ 22	90	8

経　営　戦　略

地域金融機関を取り巻く環境

地域金融機関を取り巻く環境

- 人口減少・少子高齢化
- 法改正・規制緩和
- 異業種参入
  Fintech
  キャッシュレス化
- DX（デジタルトランスフォーメーション）
- 環境問題
  ESG・SDGsの課題
- コロナ禍への対応
- 低金利環境の長期化



中期経営計画「ALL for the Region」

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

中期経営計画(2020/3期～2022/3期)

目指す姿

位置付け

当社グループ全役職員が、
「Face to Faceのお客さまに寄り添ったサービス」と、「利便性を追求したデジタル金融サービス」の両面で進化し、
持続的に地域に貢献する体制構築に取り組む期間

基本方針

「地域社会発展への貢献」

「未来への進化・変革」

「グループ総合力の発揮」

共通
価値の創造

地域No.1の金融サービスの提供により
お客さまと地域社会に貢献することで、
共通価値を創造し、地域と共に
成長・発展する総合金融グループ

重点指標

項目	2020/3期	2021/3期	前期比	2022/3期 中計目標
本業利益（２行合算）＊	169億円	196億円	＋27億円	220億円以上
当期純利益（連結）	202億円	213億円	＋10億円	220億円以上
自己資本比率（連結）	8.94%	9.45%	＋0.51%	8%台維持
コア業務粗利益ベースOHR（2行合算）	69.27%	68.19%	△1.08%	60%台維持

＊「コア業務純益－有価証券利息損益（外貨調達コスト除くネット損益）」にて算出

コロナ渦における取組み

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

■地域社会・お客さまへ

資金繰り支援
お客さま支援体制の構築
非対面サービスの充実
オンラインツールを活用した面談
オンラインセミナーの実施
各種手数料の免除
各種相談窓口の設置
寄付金、募金支援
…etc.

■感染拡大防止への取組み

飛沫防止シートの設置
ATMコーナーやロビーの消毒
テレワーク、時差出勤の活用
スプリット・オペレーションの実施
オンライン形式での各種会議・研修の実施
ATMコーナーやロビーでのソーシャルディスタンスの確保
…etc.

■お客さま支援の取組み

資金繰り支援

・日本公庫と新型コロナ対策の連携ユニット「Be　With」を創設
・商工中金と新型コロナ対策の連携ユニット「Bright Signs」を創設

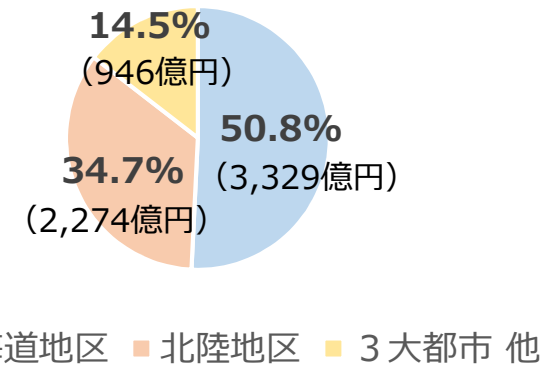
～各種相談がワンストップで可能に～

【新型コロナウイルス関連融資状況】

	件数	融資額
2行合算	**21,106件**	**6,550億円**
北陸銀行	**12,831件**	**3,842億円**
北海道銀行	**8,275件**	**2,707億円**

※2020年2月～2021年3月末の累計

エリア別実行金額割合



グループ総合力の発揮

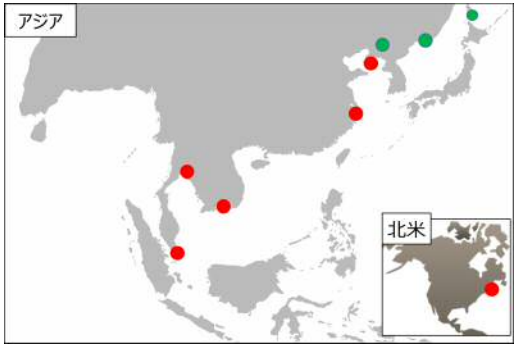
ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

ほくほくフィナンシャルグループ

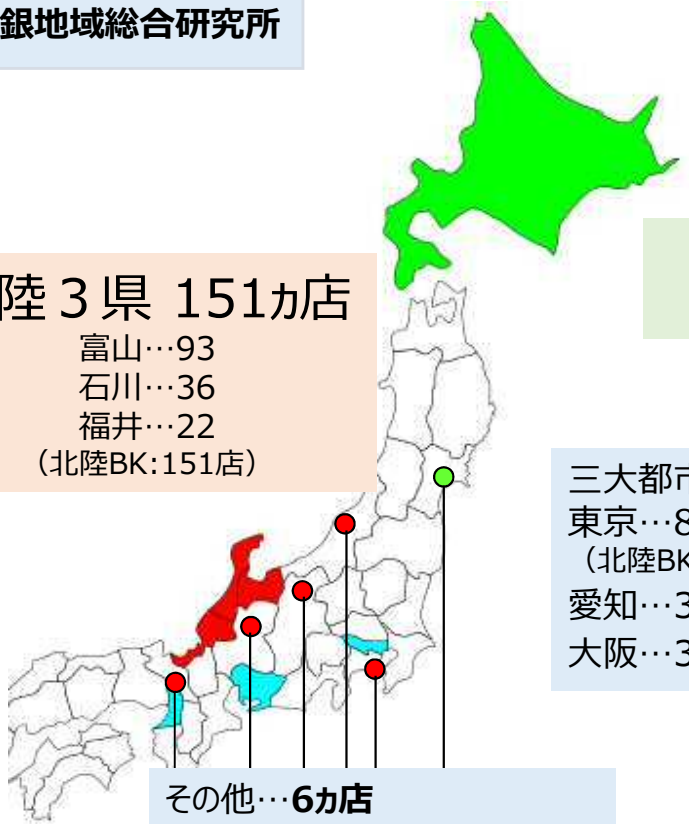
- **北陸銀行**
  - **北銀ビジネスサービス**
- **北海道銀行**
  - **道銀ビジネスサービス**
  - **道銀カード**
  - **道銀地域総合研究所**
- **ほくほくTT証券**
- **北銀リース**
- **北陸カード**
- **北陸保証サービス**
- **北銀ソフトウエア**
- **ほくほく債権回収**
- **ほくほくキャピタル**

海外拠点　８事務所

（※）ホーチミン駐在員事務所は2021年8月開設予定



国内拠点　３３２ヵ店



北陸３県 151ヵ店
富山…93
石川…36
福井…22
（北陸BK:151店）

北海道　161ヵ店
（北海道BK:142店、北陸BK：19店）

三大都市圏　**14ヵ店**
東京…8
（北陸BK：7、北海道BK：1）
愛知…3
大阪…3

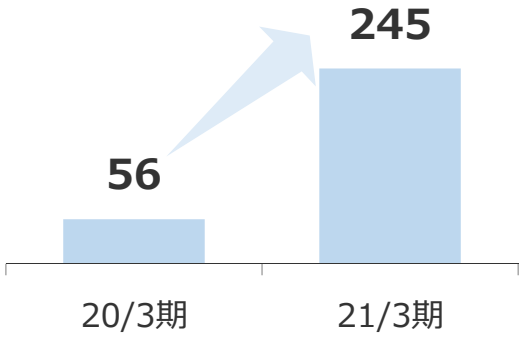
その他…**6ヵ店**
（仙台、横浜、新潟、長野、高山、京都）

（２０２１年３月末現在）

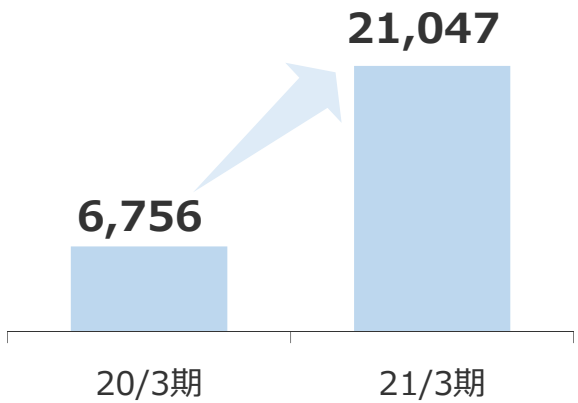
ほくほく連携の強化

北陸銀行・北海道銀行を中心としたグループ広域営業基盤を活かし、北陸銀行のお客さまと北海道銀行のお客さまを繋げる広域ビジネスマッチングや協調による資金調達支援などに積極的に取り組んでおります。

ほくほく連携(※)実績(件)



連携融資実行額（百万円）

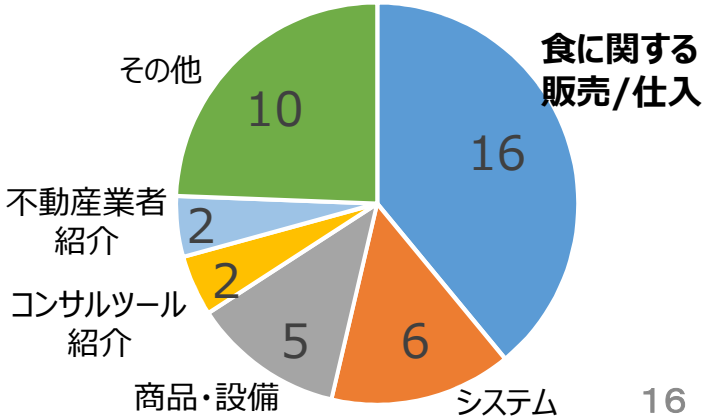


(※) 2行の連携によるお客さまの課題解決に資する取組み
（協調融資、ビジネスマッチングなど）

2020年度実績
ほくほくビジネスマッチング商談 **127件** **成約合計41件**

お客さまのビジネスマッチングニーズの例

- 食に関する販路・仕入先の拡大
- システムの導入や販路拡大
- 商品設備の販路拡大
- コンサルティング会社のご紹介
- 不動産取得・売却（仲介経由）



グループ総合力の発揮

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

総合金融グループとしての金融サービスを提供

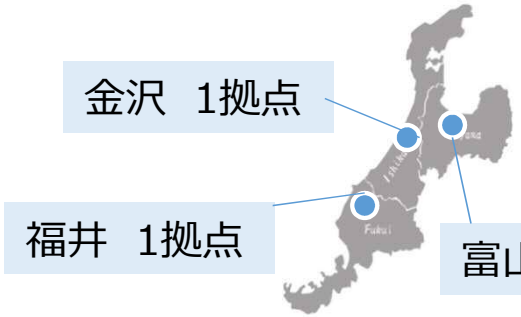
ほくほくTT証券

■銀証連携による総合提案

銀行より紹介を受けたお客さまへ証券会社としての総合提案を実施

■営業拠点の拡充

帯広支店を北海道銀行西五条支店内に開設
（2021年6月に開設予定）



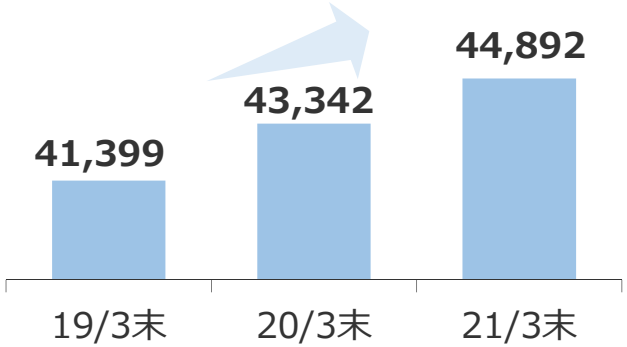
北海道　3拠点
札幌
旭川
帯広(新設)

北陸カード・道銀カード

■キャッシュレス化推進連携

銀行のキャッシュレス化推進と連携し、加盟店取引を拡大

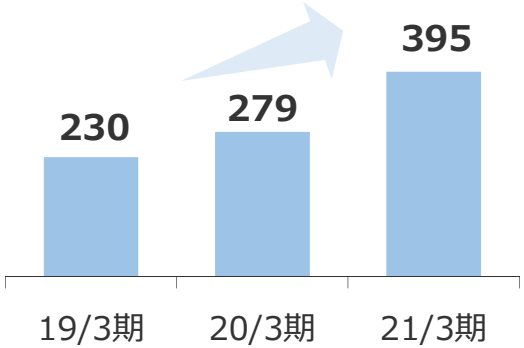
加盟店数(※)



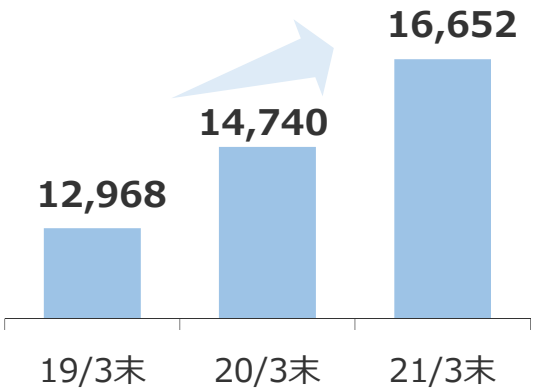
(※)北陸カード、道銀カードの加盟店舗数

関連会社利益

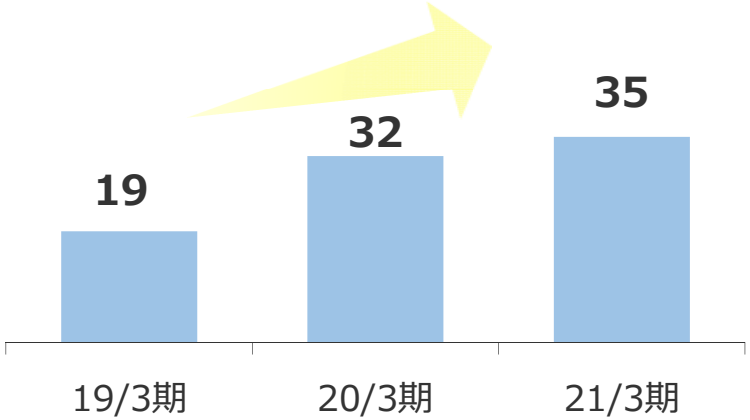
銀証連携手数料（百万円）



証券口座数



関連会社経常利益（億円）



地域のお客さまの持続的な企業価値向上に資する支援を実施

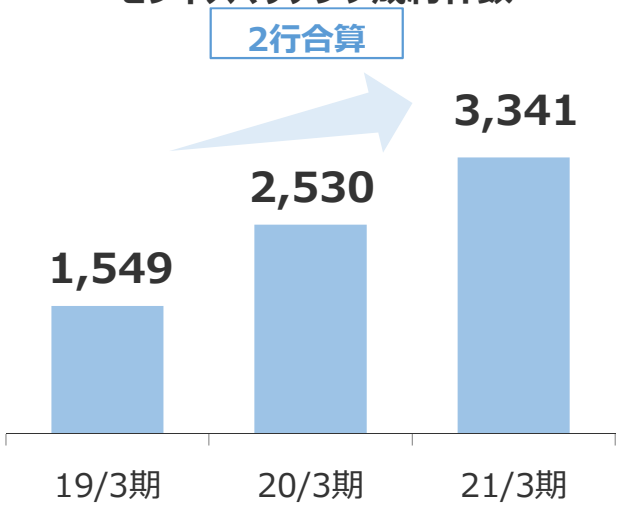
ライフステージに応じたソリューションの提供

創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期
創業支援 第二創業支援	販路開拓支援 海外進出支援 M&A支援 事業承継支援		経営改善 再生支援	

創業支援

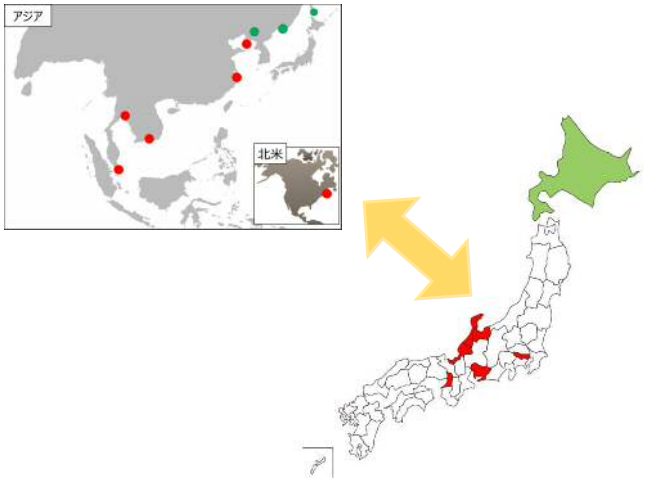
・創業支援セミナー等の実施
・公的助成申請サポート
　ものづくり補助金採択件数
　　43件(２行合算・2020年度)

ビジネスマッチング成約件数



販路開拓支援

・国内外において積極的に商談会を行い、販路開拓支援を実施

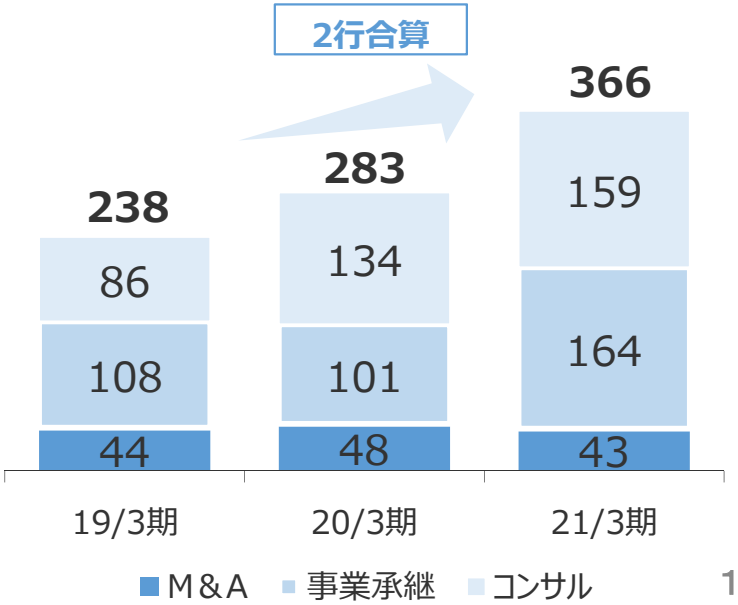


海外ビジネスマッチング成約件数
33件（2020年度・2行合算）
※）お取引先と海外現地法人のビジネスマッチング

M&A・事業承継

・本部渉外人員の育成・増員
・M&A・事業承継セミナー開催

M&A、事業承継、コンサル成約件数



個人戦略

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

お客さまのライフステージに応じたトータルソリューションを提供

若年層 → 資産形成層 → 退職前後層 → 高齢者層

備える 「平準払保険、医療・がん保険、各種預金」

育てる 「投資信託、公共債、外貨預金」

遺す 「保険・信託」

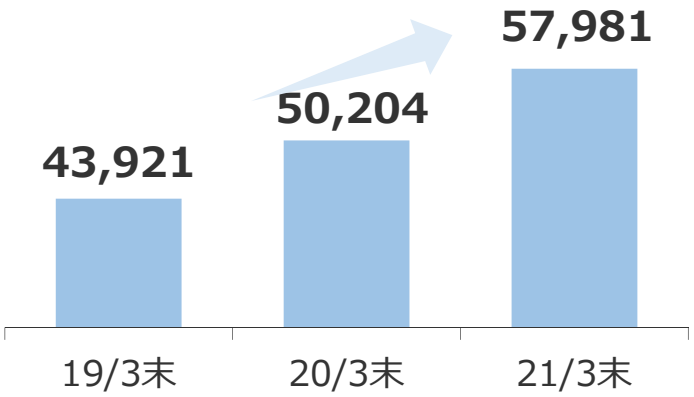
■個人のお客さま向け総合金融コンサルティング拠点の拡大

お客さまの多様化・高度化するニーズにお応えするため、高い資産運用提案スキルを持った人材を集約した個人向け総合金融コンサルティング拠点を拡大

備える

平準払保険　契約先数

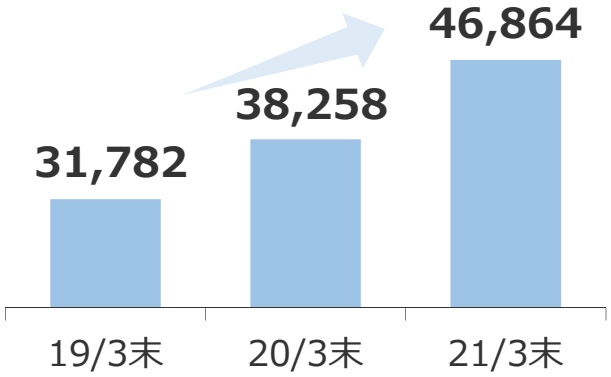
2行合算



育てる

積立型投資信託　先数

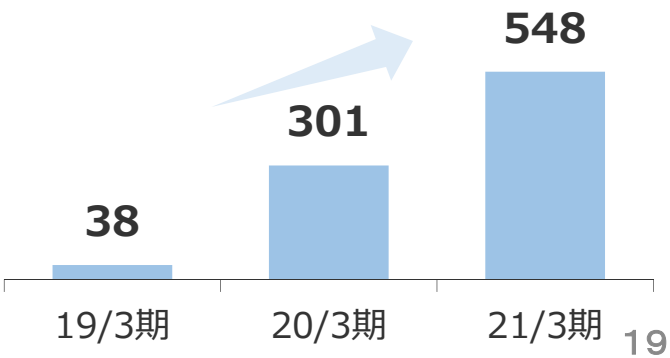
2行合算



遺す

信託取扱件数（取次を含む）

2行合算

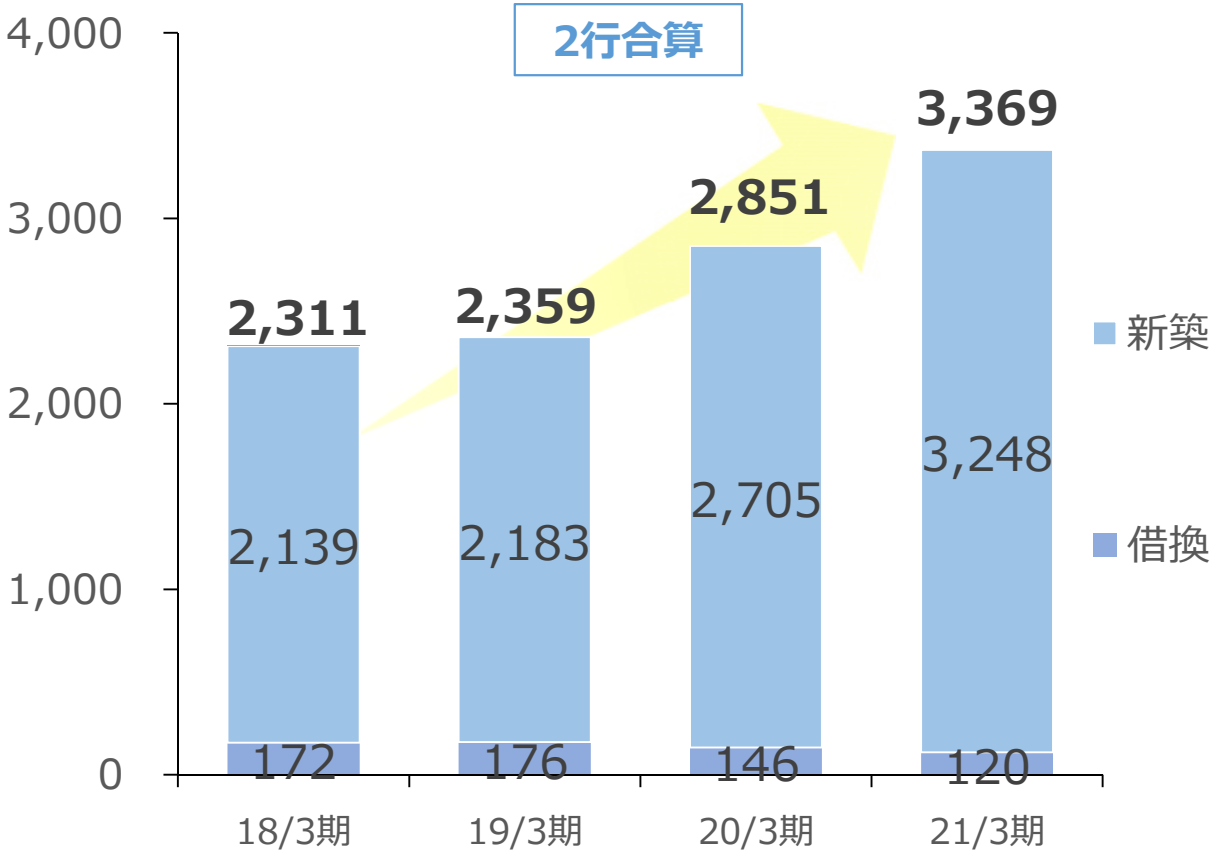


住宅ローンの商品性・利便性の向上

- 「電子契約サービス」の取扱い
- WEB申し込みフォームリニューアル(北陸銀行)
- 団体信用生命保険の充実(北陸銀行)
- 前払保証料の撤廃(北海道銀行)

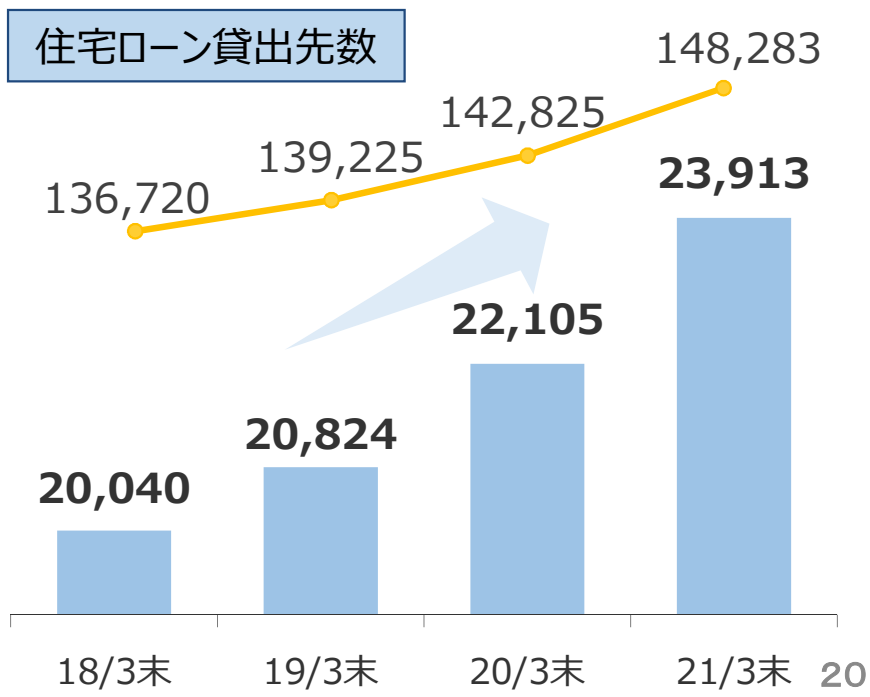
住宅ローン新規実行額

2行合算



住宅ローン残高(億円)・先数

2行合算



デジタル化による利便性向上・非対面サービスの拡充

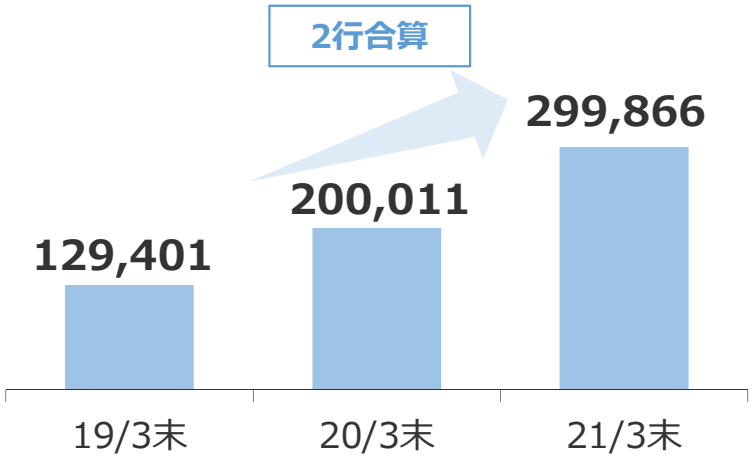
■非対面サービスの拡充

・インターネットによる生命保険の募集開始

・無担保ローン「WEB完結サービス」の対象商品拡大

・アプリリニューアル・HP等のリニューアル実施
～お客さまにとってよりわかりやすく・使いやすく～

スマホアプリ利用先数（※1）



(※1)両行のスマホアプリをインストールかつログインいただいているお客さまの先数

■お客さまの利便性向上

・タブレット端末による金融商品の申込受付

・各種手続きの電子化
- 住宅ローンの電子契約
- 預かり物件管理システム

・ビジネスポータルによるサービス拡充（北陸銀行）
- 電子交付サービスの開始

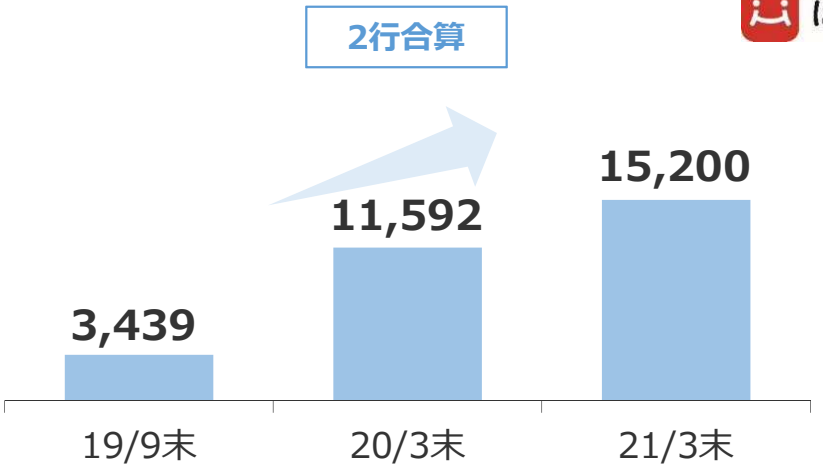
■地域のキャッシュレス化推進

・法人向けサービス「J-Coin　Biz」の取扱開始

・ほくぎんJCBデビットのApple Pay対応開始（北陸銀行）

ほくほくPay
ほくほくPay

銀行キャッシュレス加盟店数(※2)



(※2)ほくほくPay、J-Coin Payの加盟店舗数

地域社会活性化　～ ESG/SDGsへの取組み～

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

環境への取組み

■「ほくほくフィナンシャルグループ環境方針」の制定および TCFD提言への賛同

2019 年 4 月		2021 年 2 月		
ほくほくFG SDGs宣言	▶	ほくほくFG 環境方針	＋	「TCFD」提言への賛同

■温室効果ガス排出量削減に向けた取組み

2021年2月24日、北陸銀行は温室効果ガス排出量削減および地域の水力資源活用に貢献するため、北陸電力様の新たな電気料金メニュー「とやま水の郷でんき」第1号の申し込みをいたしました。

持続可能な地域社会の実現に向けた取組み

北陸銀行

気候変動関連に対する地域金融機関としての取引先への支援体制の確立

- ステップ1　重要分野の特定
- ステップ2　影響分析（定量評価）
- ステップ3　ヒアリング・支援策の検討

北海道銀行

気候変動を踏まえた北海道の水産業にかかる地域金融の実践について

- 水産関連企業の提携戦略サポート
- 総合ソリューションメニューの提供

地域社会活性化　～ ESG/SDGsへの取組み～

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

ワークライフバランス、ダイバーシティへの取組み

■健康経営の推進

従業員の健康保持・増進に向けた働きやすい環境づくりや従業員の健康づくりへの支援の取り組みが評価され、北陸銀行・北海道銀行ともに「健康経営優良法人2021大規模法人部門（ホワイト500）」の認定を取得

2021
健康経営優良法人
Health and productivity
ホワイト500

■ダイバーシティの推進

・多様な人財が能力や経験を発揮できる環境を整備
・仕事と子育ての両立支援充実

＜2020年度の取り組み＞
男性育休100%宣言（北陸）
育休者向け復職サポートセミナーの新設（北海道）

プラチナくるみん
子育てサポートしています

・男性育休取得率・・・100%（北陸・北海道）
・有給休暇取得日数（2020年度実績）
　＜北　陸＞ 13.4日
　＜北海道＞ 13.2日

■働き方改革の推進

多様で柔軟な働き方を実現することで、就業機会の拡充、生産性の向上を実現

業務改革
・本部集中化
・RPA化推進

制度・運用
・テレワーク推進
・時差出勤活用

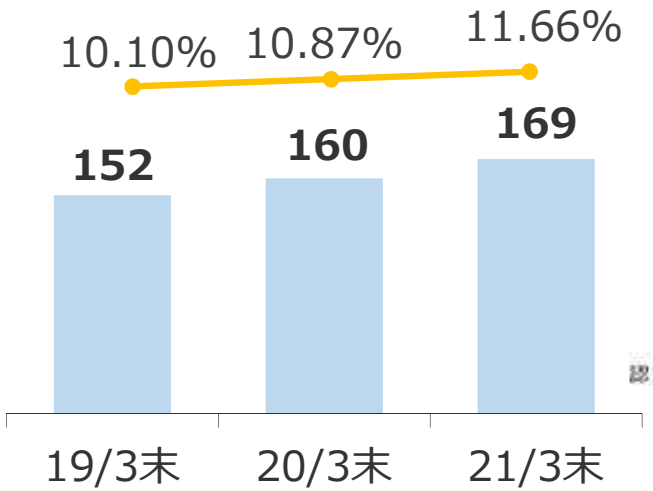
インフラ整備
・タブレット端末整備
・内線スマホ切替

組織・風土
・早期終業に向けた取組み
・各種休暇等取得促進

女性経営職・管理職数

2行合算

経営職・管理職全体に占める女性行員の割合



女性が活躍しています！
認定マーク「えるぼし」（3段階目）

本件に係る照会先

株式会社　ほくほくフィナンシャルグループ
企画グループ（担当：寺田・谷口）
TEL：076-423-7331
FAX：076-423-9545
E-MAIL：info@hokuhoku-fg.co.jp
https://www.hokuhoku-fg.co.jp/

事前に株式会社ほくほくフィナンシャルグループの許可を書面で得ることなく本資料を転写・複製し、又は第三者に配布することを禁止いたします。本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。本資料に記載された事項の全部または一部は、予告なく修正・変更されることがあります。本資料には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により、実際の数値と異なる可能性があります。